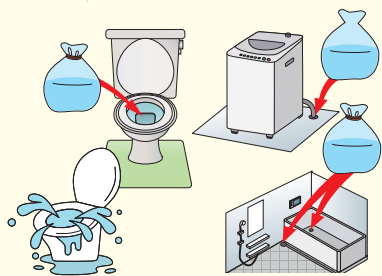


大雨や台風による災害に備えましょう

家庭でできる大雨対策

「水のう」の設置

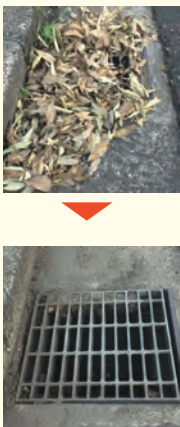
ビニール袋に水を入れた「水のう」を置くと下水の逆流を抑える効果があります。



大雨のときは急激な水位の上昇により、排水口から下水が逆流することがあります。

「排水路」の確保

●落ち葉やごみで「雨水ます」がふさがれていると、敷地や道路が冠水する恐れがあります。「雨水ます」の清掃にご協力ください。



アンダーパスの冠水にご注意ください

アンダーパスとは

交差する鉄道や道路の下を通るため、周辺より低くなっている道路のことです。

ドライバーの皆さんへお願い

●アンダーパスの手前には水位の上昇を知らせる「冠水警報装置」を、また、内部には「路面標示」「水深標示」を設置しています。日頃から、アンダーパスや標示物の位置を確認してください。

●冠水が発生した場合、足元が見えにくくなり、側溝や「雨水ます」などのふたがずれていると、転倒につながる恐れがあります。日頃から、周囲の危険箇所を確認しておくことも大切な備えです。

●大雨対策について分かりやすく説明した動画（下記を読み取り）もご覧ください。



▲上下水道局 YouTube「大雨へのそなえ」

●豪雨への備えや防災意識の向上にご活用いただくため、内水浸水想定区域図を公開しました。公開範囲は順次拡大していきます。地域情報ポータルサイト「G-motty」（左記を読み取り）や上下水道局ホームページからご確認ください。



▲地域情報ポータルサイト「G-motty」

問 上下水道局 下水道計画課 ☎582・2480

6月は「宅地防災月間」です

危険な「擁壁（石積みなど）」は早めに対策を

平成30年7月豪雨では、記録的な大雨の影響で市内の多くの擁壁などが壊れました。その大半が、古い石積みや建築用空洞ブロックで作られたものでした。石積みの中には、劣化の進行や排水機能の低下に加えて、ひずみが蓄積して壊れる寸前のものもあります。梅雨前に自宅の擁壁などを確認し、補修などを行って災害を未然に防ぎましょう。

擁壁の安全を確認しましょう

- 空積みや空洞ブロックなど不安定な構造をしていないか
- ひび割れや膨らみなどがないか
- 水抜きパイプが詰まるなど排水機能が低下していないか
- 周辺の地盤にひび割れや陥没が起きていないか
- 敷地に降った雨水が擁壁側に流れ地盤にしみ込んでいないか

融資を活用した減災工事を考えてみませんか

補修などに当たっては、宅地の災害リスク軽減に一定の効果があつる減災工事などへの低利の融資制度もあります。詳しくは問を。

壊れる前の対策が重要！

■減災工事の一例



問 建築都市局開発指導課 ☎582・2644

災害対策費用の一部を補助します

ブロック塀などの除去費用

敷地に面する道路との間に設けられた危険なブロック塀などを除去する費用の一部を補助します。上限15万円（先着順）。事前に相談が必要。対ブロック塀の所有者など。詳細は問を。

土砂災害の恐れのある住宅移転費

土砂災害特別警戒区域などに建っており居住している住宅の所有者・相続人などに、取り壊しや代替住宅の建設などの費用の一部を補助します。事前に相談が必要。補助要件など詳細は問を。

問 建築都市局建築指導課 ☎582・2531

ダムからの放流・越流の情報を提供します

市公式LINEでダムや貯水池からの放流・越流の「1時間前予告」と「開始」の情報を提供します。対象施設は、ます淵ダム（紫川）、河内貯水池（板櫃川）、畑ダム（黒川）です。LINEで「北九州市」を友だち追加後、受信設定画面で希望するダム（河川）にチェックを入れると、ダムの放流情報が入手できます。梅雨や台風などで大雨が降ると、ダムの放流が開始されることがあります。また、晴れていても大雨が予想される時には、事前に放流することがあります。放流後は、河川の水位が急激に上昇する恐れがあるため、河川に近づくと危険です。防災情報北九州（2ページ参照）などで河川の水位を確認し、水害に備えましょう。

問 建設局河川整備課 ☎582・2281

暴力団員の社会復帰対策推進事業を実施しています

市では、まちから暴力団をなくすため、福岡県警察などの関係機関と連携して暴力団員の社会復帰支援に取り組んでおり、相談窓口の設置や、就労に伴う費用の一部補助を行っています。支援内容など詳細は問を。

また、市民や事業者に対する制度の理解促進のため、社会復帰支援を受けて離脱・就労した元暴力団員やその家族、暴力団離脱者など「暴力のない安全・安心なまち」の実現に向けて、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲漫画パンフレット



◀市ホームページ「暴力団員社会復帰対策推進事業」

問 市民文化スポーツ局 安全・安心推進課 ☎582・2911

未来ホテルデーを開催します

環境について学べるさまざまな工作や実験、飲食ブースが展開します。6月10日（土）、11日（日）の10～15時、タカミヤ環境ミュージアム（八幡東区東田二丁目）で。料一部、有料ブースあり。問 同施設 ☎663・6751へ。